

2023年2月期第3四半期

決算補足資料



目次

株式会社イオンファンタジー

1. 2023年2月期第3四半期 連結決算概要
2. 2023年2月期第3四半期 重点取組み概要
 - ① 国内事業
 - ② 中国事業
 - ③ アセアン事業
3. 2023年2月期 連結業績予想

【参考資料】 単体資料





2 0 2 3 年 2 月 期 第 3 四 半 期

連結決算概要



2023年2月期第3四半期連結業績

売上高は前年同期比 23.8%増
経常利益は前年同期から 43億67百万円の改善

2023年2月期 第3四半期連結累計期間
(2022年3月1日～2022年11月30日)

(単位：百万円、%)

	2022年2月期 第3四半期累計	2023年2月期 第3四半期累計	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
売上高	42,625	52,778	23.8	+10,152
売上総利益	△ 118	4,356	—	+4,475
営業利益	△ 3,930	△ 134	—	+3,796
経常利益	△ 4,013	354	—	+4,367
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 4,687	△ 2,232	—	+2,454
1株当たり 四半期純利益	△237.17円	△112.95円	—	+124.22円

営業外収益に為替差益8億9百万円、
営業活動の一時休業に伴う特別損失10億83百万円を計上

セグメント情報（会計期間）

中国では厳しい経営環境が続くも、国内とアセアンが好調に推移
連結計の営業利益は前年同期から9億19百万の改善

2023年2月期 第3四半期連結会計期間
(2022年9月1日～2022年11月30日)

(単位:百万円、%)

		国内	海外		海外計	連結計
			中国	アセアン		
売上高	実績	14,313	1,103	2,281	3,385	17,698
	前年同期比 増減率	+16.6	△ 37.0	+462.3	+56.9	+22.6
営業利益	実績	188	△ 831	212	△ 619	△ 431
	前年同期比 増減額	+901	△ 375	+393	+18	+919

セグメント情報（累計期間）

国内事業の営業利益は前年同期から33億5百万円、
アセアン事業は同15億91百万円と大きく改善

2023年2月期 第3四半期連結累計期間
(2022年3月1日～2022年11月30日)

(単位:百万円、%)

		国内	中国	アセアン	海外計	連結計
売上高	実績	42,696	3,717	6,365	10,083	52,778
	前年同期比 増減率	+18.6	△ 35.3	+576.5	+50.8	+23.8
営業利益	実績	996	△ 2,027	897	△ 1,130	△ 134
	前年同期比 増減額	+3,305	△ 1,101	+1,591	+490	+3,796

連結貸借対照表

(2022年11月末日現在)

連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

	2022年2月期末		2023年2月期 第3四半期末		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	10,919	21.3	11,589	23.2	+669
固定資産	40,315	78.7	38,328	76.8	△ 1,987
資産合計	51,235	100.0	49,917	100.0	△ 1,317
流動負債	31,509	61.5	33,855	67.8	+2,346
(短期借入金・1年内含む)	22,238	43.4	22,529	45.1	+291
固定負債	7,884	15.4	6,719	13.5	△ 1,164
(長期借入金)	1,779	3.5	958	1.9	△ 821
負債合計	39,393	76.9	40,575	81.3	+1,181
純資産合計	11,841	23.1	9,342	18.7	△ 2,499
負債純資産合計	51,235	100.0	49,917	100.0	△ 1,317

店舗数の状況（2022年11月末日現在）

当第3四半期連結累計期間は新規出店111店舗、閉店27店舗
2022年11月末日現在の店舗数1024店舗（FC等9店舗含む）

今期の出店数および2022年11月末日現在 国別業態別店舗数

（単位：店舗数）

	従来業態			戦略的小型店				計	当期 新店
	Mollyfantasy	kidzoona	その他	TOYS SPOT PALO	PRIZE SPOT PALO	Tiny モーリー ファンタジー	その他		
日本	392	4	33	139	22	0	0	590	90
中国	131 (6)	47	13	0	0	0	4	195 (6)	4 (1)
マレーシア	47	29	13	2	0	14	1	106	7
タイ	4	24	0	0	0	3	0	31	1
フィリピン	0	51	0	0	0	0	0	51	4
インドネシア	0	30	2	0	0	0	0	32	2
ベトナム	5	8	1	0	0	1	1	16	3
カンボジア	1 (1)	2 (2)	0	0	0	0	0	3 (3)	0
アセアン	57 (1)	144 (2)	16	2	0	18	2	239 (3)	17
海外計	188 (7)	191 (2)	29	2	0	18	6	434 (9)	21 (1)
合計	580 (7)	195 (2)	62	141	22	18	6	1,024 (9)	111 (1)
業態合計	837 (10)			187					

注：()内数値は内数でFC等(業務提携契約、業務委託契約、ライセンス契約を含む)の店舗数。



2023年2月期第3四半期

重点取組み概要

①国内事業

【国内事業】 第3四半期 国内出店数

カプセルトイ専門店 TOYS SPOT PALO を中心に計 4 5 店舗出店



モーリーファンタジー



カプセルトイ専門店



プライズ専門店



新規出店 **4**

(今年度9、累計392店舗)



新規出店 **30**

(今年度60、累計139店舗)



新規出店 **11**

(今年度20、累計22店舗)

【国内事業】 既存店活性化



レイクタウン店をNEWモデルに活性化
キッズコーナーを拡充し、大型サイネージを導入



【活性化店舗数】

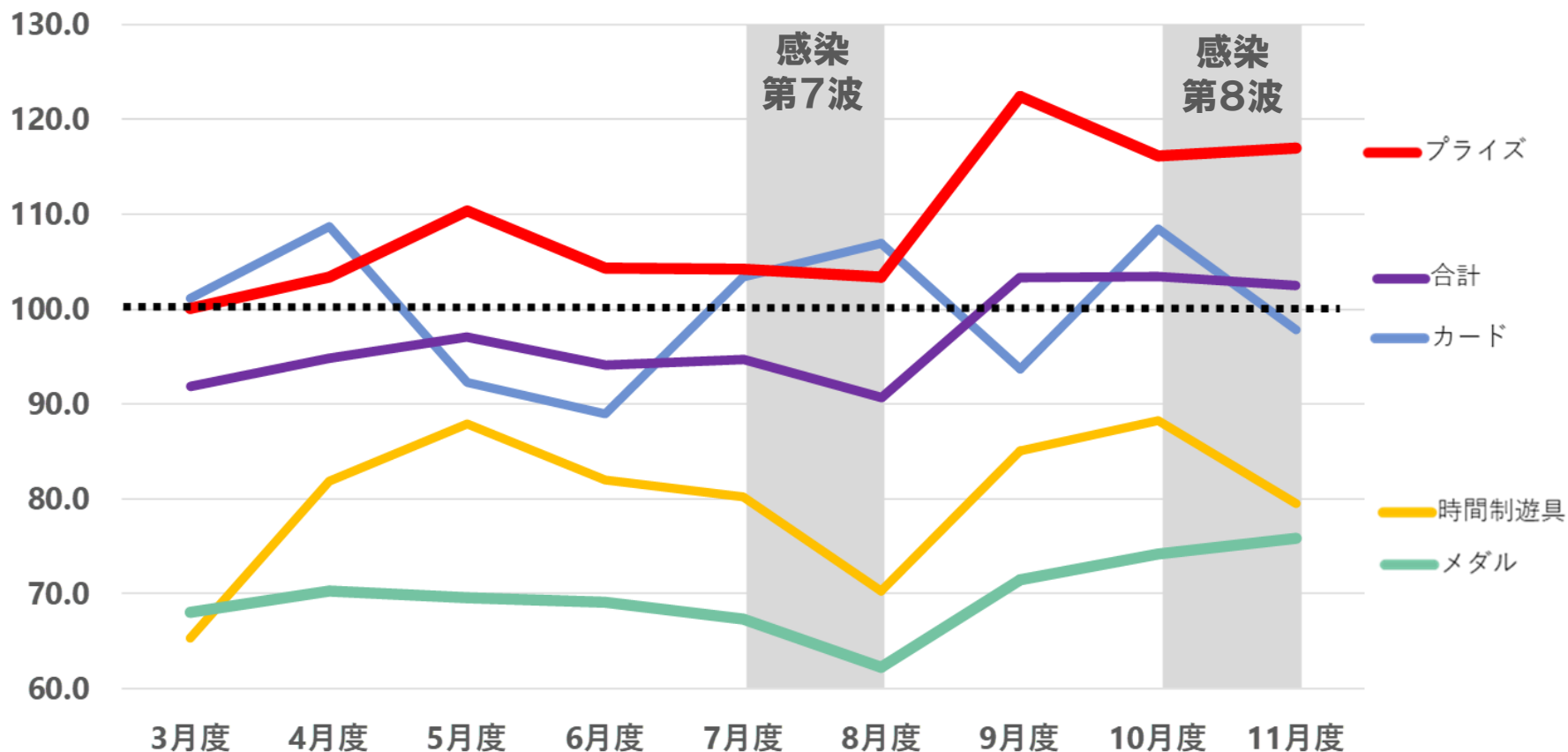
NEWモーリーモデル **1** 店舗

通常モデル **2** 店舗

2022年度累計 NEWモデル3店舗
通常モデル9店舗

【国内事業】 部門別売上高既存店 2019年同期比推移

プライズが好調を継続、コロナ禍で回復が遅れていたメダルが上昇傾向



【国内事業】 1000店舗記念イベント

世界1000店舗達成を記念し、
11月に月間を通じて大々的にイベントを開催



特にアプリ会員限定イベントや
メダルのキャンペーンを強化

<p>1 11.1 ㊗ >>> 30 水</p> <p>当日ご入会の方も対象</p> <p>モーリーフレンズDX 全会員</p> <p>抽選で来店ポイント 1000 枚が当たるチャンス!</p>	<p>2 11.1 ㊗ >>> 30 水</p> <p>当日ご入会の方も対象</p> <p>モーリーフレンズDX アプリ会員限定</p> <p>毎週火曜日に配信! チャンスは最大5回!</p> <p>メダル1000円で 1000 枚クーポンをゲット!</p>	<p>3 11.1 ㊗ >>> 30 水</p> <p>当日ご入会の方も対象</p> <p>モーリーフレンズDX アプリ会員限定</p> <p>お得意クーポン配信! 第1弾使用期間 ~11/15まで 第2弾使用期間 ~11/30まで</p> <p>よくらバス 60分 半額無料</p> <p>30分</p>
<p>4 メダル増量</p> <p>11.1 ㊗ >>> 14 月</p> <p>メダル1300円の買出しで +100 枚をゲット!</p>	<p>5 無料開放</p> <p>11.20 日 のみ!</p> <p>11/20の無料開放日は、 完全入れ替え制になります</p> <p>無料</p>	<p>6 限定プライズ</p> <p>11.17 日 まで >>> なくなり次第終了</p> <p>限定!</p> <p>うまい棒</p>

【国内事業】 1000店舗記念イベント



イベント期間中は店舗装飾や
全スタッフが記念Tシャツを着用するなど
特別感を演出

【国内事業】

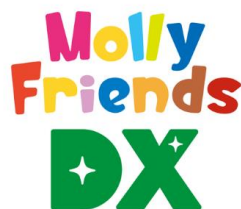
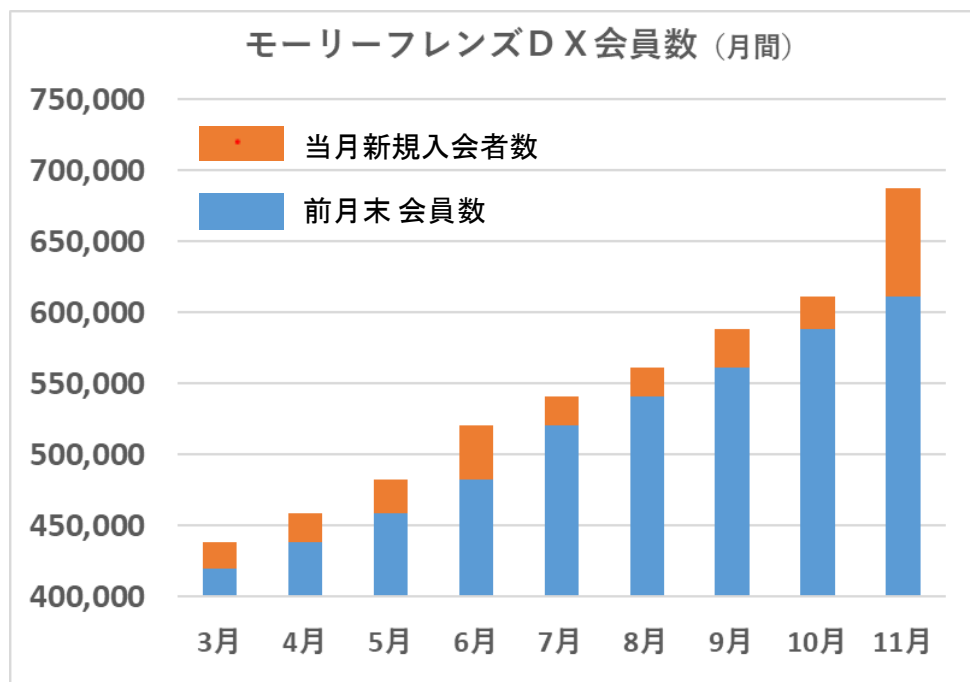
モーリーフレンズDX (会員制度)

1000店舗記念イベントでは会員限定のお得なクーポンを多数配信し、
新規入会者数が増加



【1000店舗記念イベント】
会員限定キャンペーンを
多数実施し
新規入会が大幅に増加

1 11.1 日 30 日	2 11.1 日 30 日	3 11.1 日 30 日
当日ご入会の方も対象 モーリーフレンズDX 全会員	当日ご入会の方も対象 モーリーフレンズDX アプリ会員限定	当日ご入会の方も対象 モーリーフレンズDX アプリ会員限定
抽選で来店ポイント 1000 ポイントが 当たるチャンス!	メダル1000円で 1000 枚 クーポンをゲット!	よこばりバス 60分 半額 無料 30分



会員数

42万人 → 68万人
(2月末時点) (11月末時点)

【国内事業】 プライズ部門①

戦略的に強化しているキッズカテゴリーが売上を牽引



ロングヒット中の「アースグミ」



「どれやすさ」が人気の小型クレーン

キッズプライズ売上高
既存店前年同期比 **118.4%**
(2022年度累計 128.6%)

【国内事業】 プライズ部門②

当社限定プライズ『NCT127』など男性アーティスト景品が大ヒット



NCT 127



展開日には多くの女性ファンが列を作る

【当社限定景品『NCT127』】
モーリーオンライン、オンラインスクラッチ、
カプセルトイのすべてのチャンネルで展開

プライズ部門売上高
既存店前年同期比 **113.1%**
(2022年度累計 115.1%)

【国内事業】 カプセルトイ部門

カプセルトイ専門店 TOYS SPOT PALO 累計 139 店舗出店
ショッピングセンターの他、百貨店「大丸」にも初出店



プライズ景品とカプセルトイを同時に企画し
TOYS SPOT PALO限定品として展開



カプセルトイ部門
売上高前年同期比 **150.0%**
(2022年度累計 162.5%)

【国内事業】 メダル部門

1000店舗記念イベント効果もあり、メダル部門の回復が進む

CHAMPION 2 Molly Friends DX 11.1 ㊄ 30水

当日ご入会の方も対象
モーリーフレンズDX アプリ会員限定

Molly Friends DX 毎週火曜日に配信!
チャンスは最大5回!

メダル1000円で
1000枚
クーポンをゲット!

CHAMPION 4 メダル増量 11.1 ㊄ 14日

メダル1300円の買し出して
+100枚
をゲット!



【1000店舗記念イベント】
メダルキャンペーンが大好評

メダル部門売上高
既存店前年同期比

119.5%

(2022年度累計 118.2%)

【国内事業】 カード部門

人気タイトルの当社限定カードイベントを全国6モールで実施



当社限定イベント
ポケモンメザスタ「メザスタフェスタ」



カード部門売上高
既存店前年同期比

115.9%

(2022年度累計 127.1%)

【国内事業】 時間制遊具部門



1000店舗を記念し、11月20日の世界こどもの日に
全国210カ所の時間制遊具施設を無料開放



時間制遊具部門売上高 **116.2%**
既存店前年同期比
(2022年度累計 134.6%)

【国内事業】 体感部門

よくばりパス利用促進イベントを実施



3 11.1火 >>> 30水

当日ご入会の方も対象

モーリーフレンズDX アプリ会員限定

Molly Friends DX

お得なクーポン配信!

第1弾使用期間 ~11/15まで

第2弾使用期間 ~11/30まで

よくばりパス 60分

半額無料

30分



【1000店舗イベント】
アプリ会員限定の
「よくばりパス60分
半額クーポン」
利用者数が前月1.2倍に

体感部門売上高
既存店前年同期比 **106.5%**

(2022年度累計 112.7%)

【国内事業】 集客イベント

3年ぶりのハロウィンパレードを開催
全国で6,000人以上のお子さまが参加



全国111店舗でハロウィンイベントを開催

【国内事業】 オンライン事業

「ヒプノシスマイク」 「NCT 127」 など当社限定景品を強化



ヒプノシスマイク



NCT127

オンライン事業売上高
前年同期比

99.1%

(2022年度累計 84.8%)

【国内事業】 温浴事業

9月15日、温浴事業2号店目となるOYUGIWA浜松市野店を開業



温浴事業売上高
前年同期比

262.6%

(2022年度累計 183.2%)

【国内事業】 新業態

本格アスレチック『ダイナレックスチャレンジ』を
モーリーファンタジー f 岐阜店内にオープン



高さ11mのロープアスレチックや
ボルダリングなど4つのエリアで構成



小学校中学年以上のお子様向けに
挑戦心を養うような遊びを提供

活性化後伸び率 **+60.7%**

【国内事業】 地方共生事業

山梨県上野原市「ゆずりはら自然の里」の指定管理者に採択
2023年7月開業を目指す



廃止が検討されていた
山梨県運営「ゆずりはら自然の里」

子どもの体験価値創造を提供する
新たなグランピング施設「ミューの森」へリニューアル

【国内事業】 統合報告書2022

当社初の統合報告書を発行
価値創造戦略やサステナビリティ経営について掲載



夢中を育む。
Aeon Fantasy

株式会社イオンファンタジー
統合報告書
2022

AEON
あをん 夢を育む
イオンファンタジー

Chapter1 私たちが目指す未来

イオンファンタジーの創出価値 “えがお”あふれる世界のために イオンファンタジーが創出する価値

イオンファンタジーが
最も大切にすることは



イオンファンタジーの創出価値

- こどもたちが「たのしさとふれあい」を感じることができるよう、「ふれあい」の機会を創り出す
- こどもたちの「たのしさとふれあい」の源泉となる「ファンタジービープルのハピネス」を追求する
- 事業活動の基盤としてイオンファンタジーだから実現できる「安全・安心」と「おもてなし」を提供する

「たのしさと」「ふれあい」

イオンファンタジーは、「えがお」あふれる世界を実現するためには、こどもの「えがお」を生み出し、その「えがお」の輪を広げていくことが重要であると考えています。この実現のために私たちは、こどもが周りの音も声も聞こえないくらい夢中になることができる「たのしさと」を追求し、かたちにしていく挑戦を続けました。さらに、こどもたち一人ひとりの「えがお」の輪を、大きな輪にするために「ふれあい」が求められる場や空間、人づくりを進めています。こども同士やこどもとそのファミリー、そしてこどもやそのファミリーとファンタジービープルの「たのしさと」「ふれあい」を提供し、「えがお」あふれる世界につなげていきます。



「ファンタジービープルのハピネス」

こどもたちの「たのしさと」「ふれあい」をつくりだす源泉は、ほかでもない国内外のファンタジービープル(イオンファンタジーで働くすべての人々)です。当社は、ファンタジービープルが楽しくいきいきと暮らし、仕事ができる環境をつくることは、こどもたちの「えがお」につながっていくと考え、「ファンタジービープルのハピネス」の追求を創出価値の1つとして考えました。ファンタジービープルが心身ともに健康で、働きやすい食生活づくりを進める「健康経営」や、一人ひとりが持つ多様な価値観・経験・能力などを経営に生かす「ダイバーシティ経営」を推進するほか、自ら考え挑戦する風土づくりに取り組んでいます。



「安全・安心」と「おもてなし」

こどもたちの「たのしさと」「ふれあい」、その源泉となる「ファンタジービープルのハピネス」、これらすべての創出価値の基盤となるのが「安全・安心」と「おもてなし」です。こどもたちが遊ぶ場所に加え、ファンタジービープルが働く場所におけるハード面ソフト面の「安全・安心」はあらゆる事業活動の基盤となり得ます。また、こどもとそのファミリーに対してだけでなく、ともに働く仲間に対しては、相手に敬意を持ち、心のこもった対応をすることを「おもてなし」と捉え、私たちはこれまでの経営の中で蓄積されたノウハウを生かしながら進化させていきます。

【国内事業】 令和3年度千葉県男女共同参画推進事業所表彰 知事賞受賞

女性管理職比率や働きやすい職場づくりへの取り組みが評価される





2023年2月期第3四半期

重点取組み概要

② 中国事業

③ アセアン事業



海外の業績

アセアン計で営業利益は過去最高益となり、前年同期から15億73百万円の改善
マレーシア、フィリピン、インドネシア、ベトナムが黒字

<国別業績 2023年2月期連結・第3四半期累計期間>

(単位:百万円、%)

	中国		マレーシア		タイ		フィリピン		インドネシア		ベトナム		アセアン計	
	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年
売上高	5,746	3,717	451	2,481	70	514	40	1,703	279	1,005	97	660	941	6,365
店舗利益	△ 269	△ 1,250	△ 176	566	△ 38	15	25	645	59	220	△ 45	191	△ 175	1,640
販管費	656	777	152	273	52	67	102	129	114	174	79	97	501	743
営業利益	△ 926	△ 2,027	△ 328	292	△ 90	△ 51	△ 77	516	△ 55	45	△ 124	93	△ 676	897
既存店売上 対2019年伸び率	△ 11.5	△ 47.2	△ 76.3	+14.6	△ 90.9	△ 33.1	△ 96.7	+23.3	△ 57.1	△ 4.9	△ 82.2	+20.5	△ 81.8	+6.4

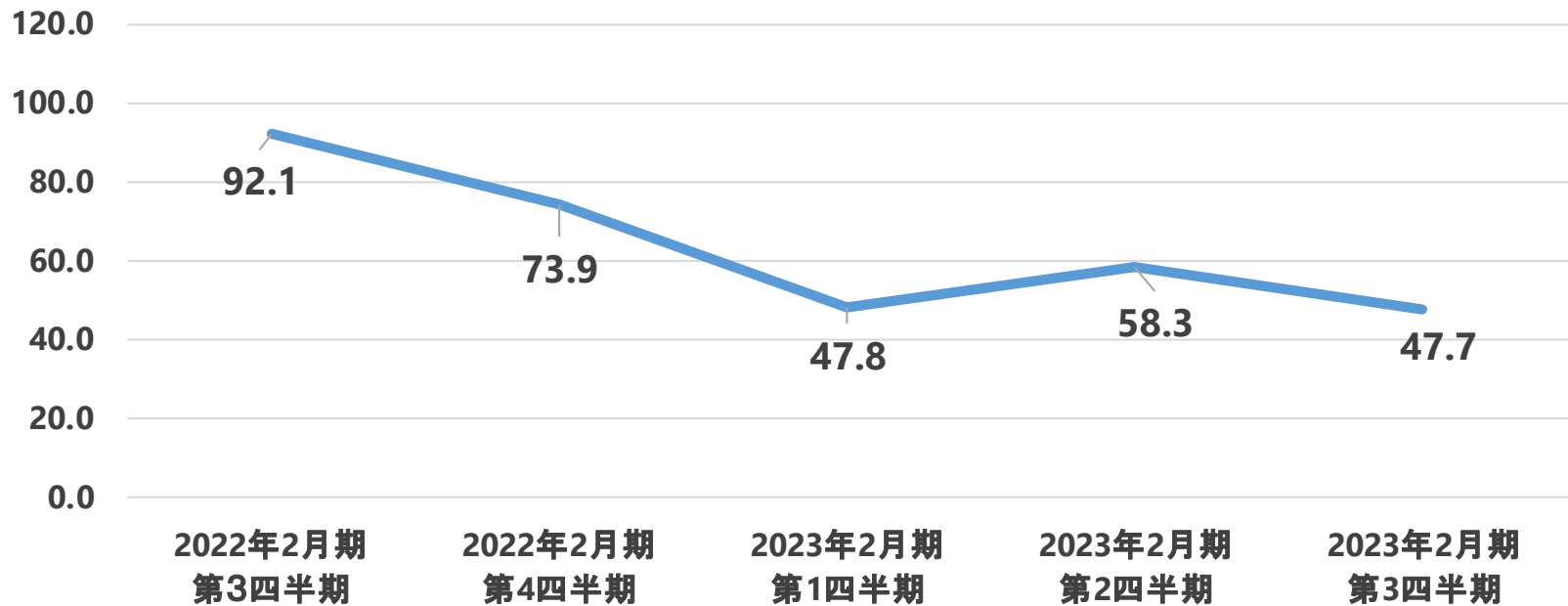
※マレーシアの前年ののれん償却を除く

【中国事業】

売上高既存店 2019年度同期比推移

当第3四半期売上高既存店2019年同期比 47.7%
9月以降休業店舗数が増加し、11月末時点では約6割の店舗が休業

【2019年既存店同期比(%)】

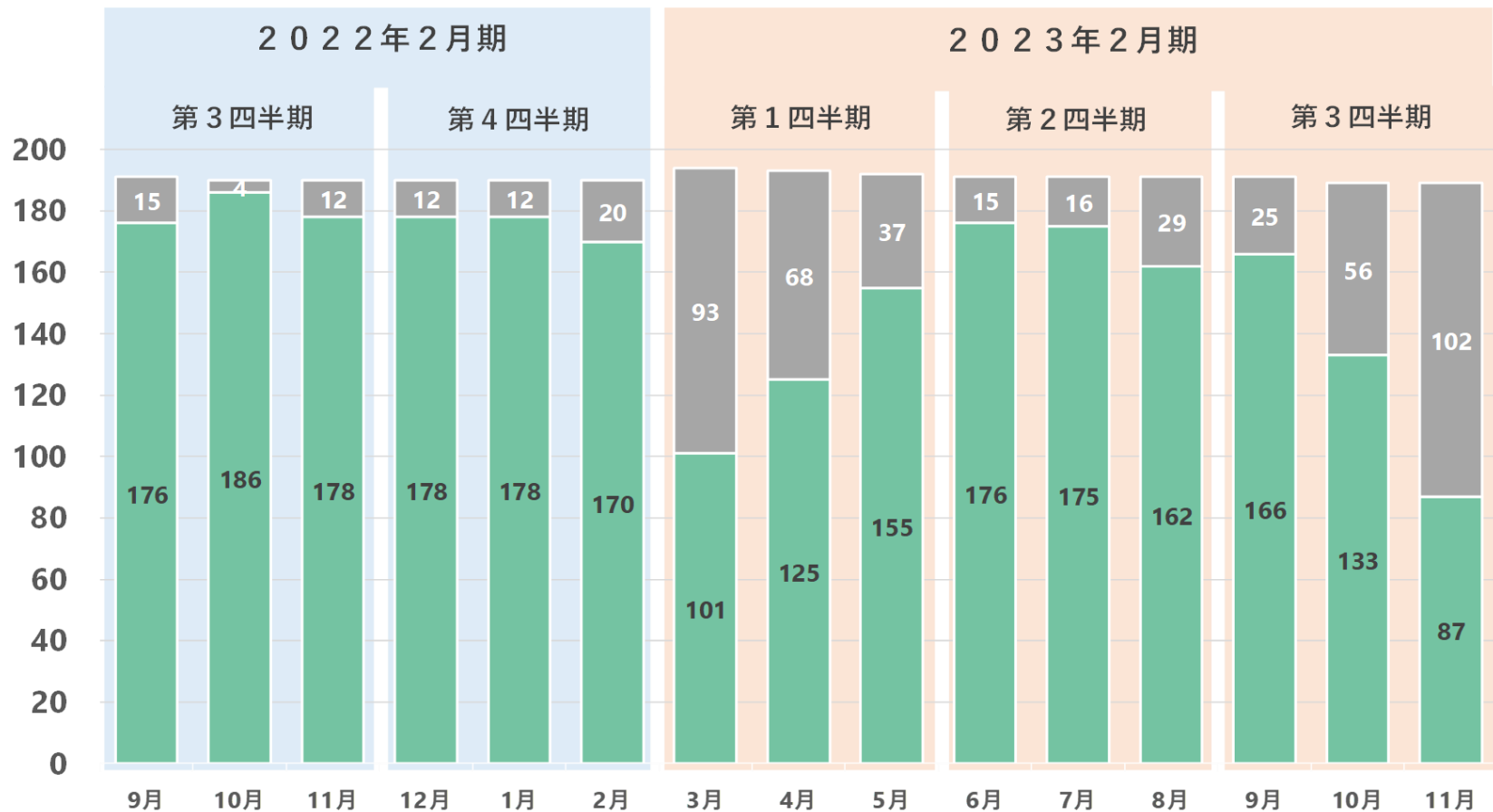


【中国事業】 営業店舗数の推移

9月以降休業店舗数が増加し、11月末時点では約6割の店舗が休業

営業店舗数

休業店舗数



【中国事業】 1000店舗記念イベント

抽選に当選された1000名を
時間制遊具施設・プレイグラウンドに招待



モーリーファンタジー



FANPEKKA

【中国事業】 オンライン販売

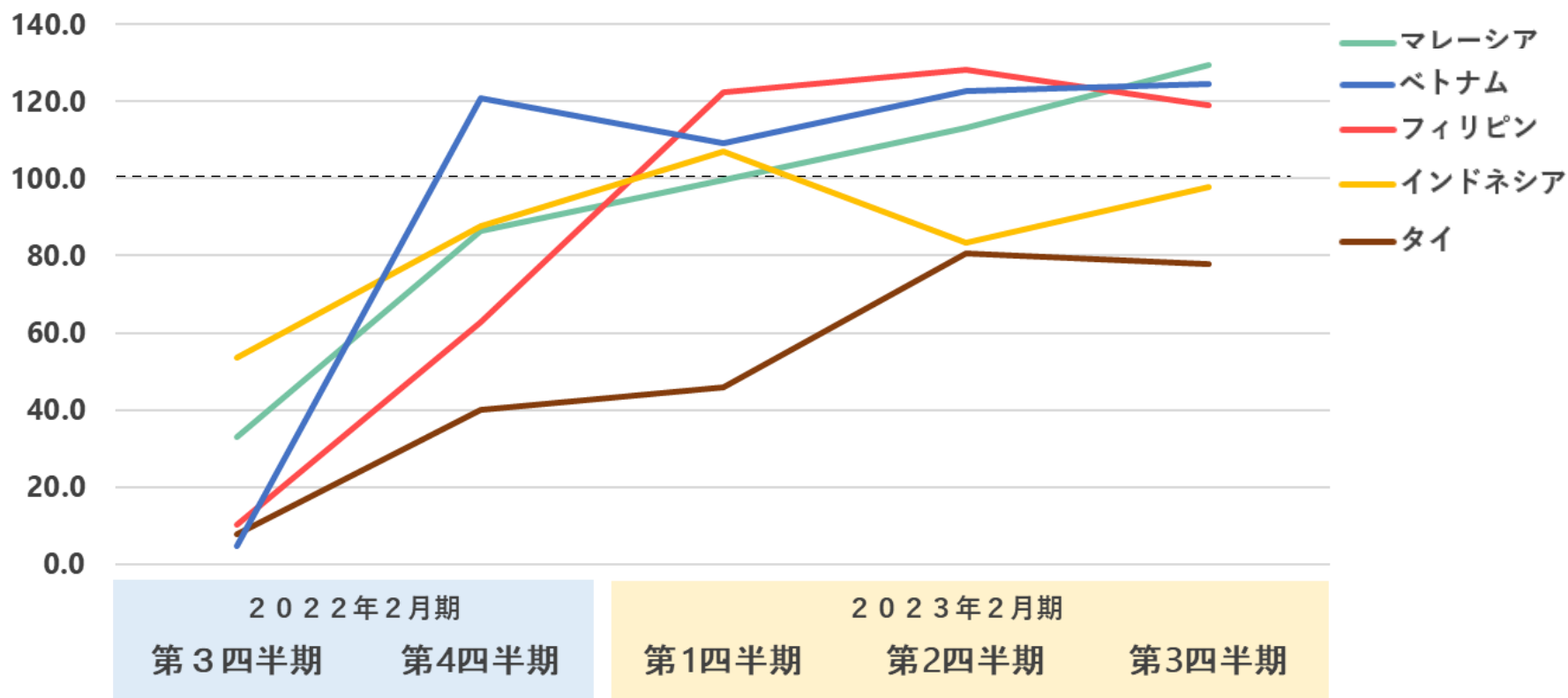
11月11日「独身の日」、中国最大のオンラインモール「天猫（T-mall）」の
レジャー関連部門ランキングで売上高1位



【アセアン事業】 売上高既存店2019年度同期比推移

第3四半期アセアン既存店売上計は121.0%と好調

	2022年2月期 第3四半期	第4四半期	2023年2月期 第1四半期	第2四半期	第3四半期
アセアン計	25.2	76.1	88.8	108.5	121.0



【アセアン事業】
売上高既存店2019年同期比
(第3四半期会計期間)



マレーシア **129.4%**

カプセルトイ2号店を出店
競合との差別化が売上に繋がる



フィリピン **119.0%**

団体利用(パーティ)を再開し
イベント売上が増加

【アセアン事業】
売上高既存店2019年同期比
(第3四半期会計期間)



ベトナム **124.7%**

既存店が好調、
一時区画などの取り組み進める



インドネシア
97.7%

夏の感染拡大時から客数回復基調、
新店のキッズーナが好調



タイ
77.7%

キッズーナの食事販売を導入し
客単価向上に取り組む

【アセアン事業】 1000店舗記念

各国約1,000名のお子さまをプレイグラウンドに無料招待



【アセアン事業】 1000店舗記念



フィリピンではプレイグラウンド招待の他にも、
社会貢献活動として、学校訪問や食事提供を実施





2 0 2 3 年 2 月 期

連結業績予想

2023年2月期 連結業績予想

(単位:百万円、%)

	前回発表予想	今回発表	修正 増減率	修正 増減額	前年同期比 増減率・増減額
売上高	78,900	73,200	△ 7.2	△ 5,700	+21.7
営業利益	2,600	300	△ 88.5	△ 2,300	+3,708
経常利益	1,700	350	△ 79.4	△ 1,350	+3,735
親会社株主に帰属する 当期純利益	400	△ 3,400	—	△ 3,800	+1,107
1株当たり当期純利益	20.24円	△172.00円	—	△192.24円	56.07円
1株当たり配当金	20.00円	10.00円	—	△10.00円	△10.00円

セグメント別 2023年2月期 連結業績予想

(単位:百万円、%)

		国内			海外計	連結調整	連結計
		国内	中国	アセアン			
売上高	今回発表予想	59,380	5,160	8,662	13,822	△ 2	73,200
	前回発表予想	62,500	9,800	6,760	16,560	△ 160	78,900
	修正増減額	△ 3,120	△ 4,640	1,902	△ 2,738	158	△ 5,700
	修正増減率	△ 5.0	△ 47.3	+28.1	△ 16.5	-	△ 7.2
	前年同期比増減率	+17.8	△ 33.2	+310.6	+40.6	-	+21.7
営業利益	今回発表予想	2,170	△ 2,970	1,100	△ 1,870	0	300
	前回発表予想	2,400	100	100	200	0	2,600
	修正増減額	△ 230	△ 3,070	1,000	△ 2,070	0	△ 2,300
	前年同期比増減額	+3,770	△ 1,739	+1,676	△ 63	0	+3,708

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として、約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等には様々な要因により、大きく異なる可能性があります。





单体資料

2023年2月期第3四半期の業績（単体）

2023年2月期第3四半期連結累計期間（単位：百万円、％）

	2022年2月期 第3四半期	2023年2月期 第3四半期	前年同期比 増減率
売上高	36,000	42,696	18.6
売上総利益	326	3,965	1,113.3
販売管理費	2,635	2,969	12.7
営業利益	△ 2,308	996	—
営業外損益	386	1,042	169.4
経常利益	△ 1,921	2,038	—
税引前 当期純利益	△ 2,979	△ 1,204	—
当期純利益	△ 2,689	△ 1,970	—

四半期毎の業績推移（単体）

（単位：百万円、％）

	2022年2月期				2023年2月期					
	第3四半期		第4四半期		第1四半期		第2四半期		第3四半期	
	実績	前年同期比 増減率	実績	前年同期比 増減率	実績	前年同期比 増減率	実績	前年同期比 増減率	実績	前年同期比 増減率
売上高	12,280	△ 8.7	14,409	+10.7	13,519	+20.3	14,863	+19.1	14,313	+16.6
売上総利益	223	—	1,570	+232.9	1,063	—	1,690	+665.3	1,211	+443.4
販管費	935	+0.8	861	+5.4	1,019	+10.2	926	+19.5	1,023	+9.4
営業利益	△ 712	—	708	—	44	—	764	—	188	—
営業外損益	317	—	205	+85.7	716	+326.0	718	+2,029.5	△ 183	—
経常利益	△ 394	—	914	—	760	—	1,369	—	△ 90	—
税引前利益	△ 563	—	△ 2,441	—	△ 539	—	883	—	△ 1,548	—
四半期純利益	△ 568	—	△ 2,816	—	△ 810	—	418	—	△ 1,577	—

会計上の売上高詳細（単体）

（単位：百万円、％）

	2022年2月期 第3四半期累計		2023年2月期 第3四半期累計		前年 同期比	既存店 2019年比
	実績	構成比	実績	構成比		
遊戯機械	30,126	83.7	34,926	81.8	115.9	89.0
商品（物販）	5,542	15.4	7,424	17.4	134.0	121.8
委託	62	0.2	66	0.2	107.4	—
その他	119	0.3	221	0.5	185.7	—
遊戯施設関係売上	35,850	99.6	42,639	99.9	118.9	93.5
その他売上高	150	0.4	57	0.1	38.1	65.8
売上高合計	36,000	100.0	42,696	100.0	118.6	93.4

貸借対照表（単体）

2023年2月期 第3四半期連結累計期間

（単位：百万円、％）

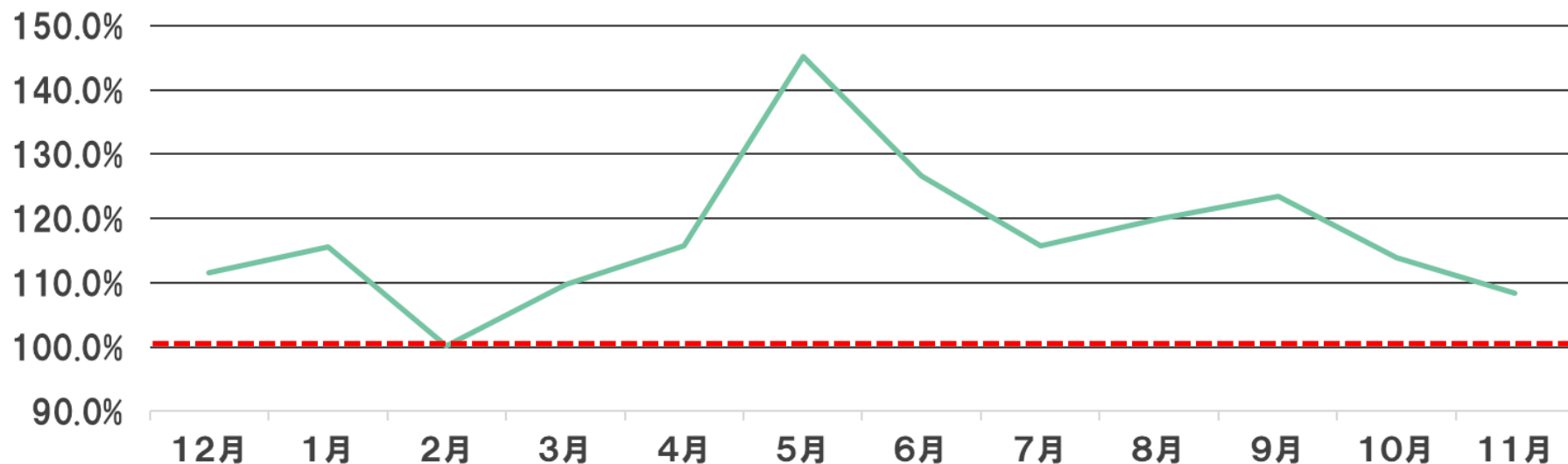
	2022年2月期末 （前期末）		2023年2月期 第3四半期末		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	13,744	33.5	16,836	38.0	+3,092
固定資産	27,244	66.5	27,521	62.0	+276
資産合計	40,988	100.0	44,358	100.0	+3,369
流動負債	23,782	58.0	26,327	59.4	+2,544
固定負債	5,332	13.0	8,325	18.8	+2,993
負債合計	29,114	71.0	34,652	78.1	+5,537
純資産合計	11,873	29.0	9,705	21.9	△ 2,168
負債純資産合計	40,988	100.0	44,358	100.0	+3,369

既存店前年比の月次推移（単体）

既存店前年比 (単位:%)

既存店前年対比	12月度	1月度	2月度	3月度	4月度	5月度
既存比	111.6	115.6	100.2	109.7	115.8	145.2

既存店前年対比	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度
既存比	126.6	115.8	120.0	123.5	113.9	108.4



部門別売上動向（単体）

	2022年2月期				2023年2月期					
	第3四半期		第4四半期		第1四半期		第2四半期		第3四半期	
	売上高 構成比	既存 2019年 比	売上高 構成比	既存 2019年 比	売上高 構成比	既存 2019年 比	売上高 構成比	既存 2019年 比	売上高 構成比	既存 2019年 比
時間制遊具	2.9	69.6	3.0	85.1	3.0	77.3	3.2	76.6	2.8	84.4
体感	5.7	79.5	5.4	82.8	5.7	79.8	5.6	79.0	5.2	84.8
カード	11.8	84.4	11.0	93.8	13.4	100.0	11.5	100.9	11.6	99.6
メダル	17.9	61.2	18.1	65.5	17.5	69.3	18.5	65.5	18.3	73.8
プライズ	55.2	104.9	55.8	106.5	53.2	104.5	54.1	103.9	54.3	118.5
シール	1.5	66.9	1.5	71.1	1.9	68.8	1.6	68.0	1.5	73.9
カプセルトイ	4.3	255.0	4.7	220.2	4.8	494.2	5.2	432.2	5.5	363.6
遊戯施設売上計	100.0	89.3	100.0	93.6	100.0	94.7	100.0	92.9	100.0	105.4

既存店2019年比の月次推移（単体）

既存店2019年比

（単位：%）

既存店 2019年対比	12月度	1月度	2月度	3月度	4月度	5月度
既存比	102.1	91.9	92.7	91.9	94.8	97.0
既存店 2019年対比	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度
既存比	94.1	94.7	90.7	103.3	103.4	102.5

